



宮崎県水産職

～海を相手に仕事がしたい～



水産職の職場



水産局 水産政策課

本庁(宮崎市街地)にある職場で、漁船漁業や養殖業の振興策、流通対策、担い手対策、金融対策の業務を行うほか、政策の企画・立案など、水産振興施策の中心を担っています。

私はここで、主に漁業の担い手確保に関する業務や児湯地区の水産業普及指導を担当しており、漁業地域の活性化や漁業者の経営向上に取り組んでいます。(令和5年度入庁)



水産局 漁業管理課



本庁(宮崎市街地)にある職場で、漁業許可や漁船登録、漁業違反の取締り、資源管理対策のほか、漁港施設の維持・管理などの業務を行っています。

私はここで、主に漁船登録など漁船に関する事務や海区漁業調整委員会の運営を担当しており、漁業者の操業が円滑に行われるよう取り組んでいます。(令和4年度入庁)

漁港漁場整備室

漁業管理課内にある部署で、漁港や魚礁などの公共施設の整備を主体として、漁業協同組合の施設整備に対する補助事業を行っています。

私はここで、主に漁場及び増殖場の造成や漁業者の共同利用施設の整備に関する業務を担当しており、漁業操業の効率化に取り組んでいます。(令和4年度入庁)



水産試験場



宮崎市青島にある公設試験研究機関で、漁海況、水産資源量、漁業経営分析のほか、増養殖技術などの研究を行っています。

なお、試験研究の高度化に向け、再編整備を進めているところです。

内水面支場

小林市にある水産試験場の支場で、淡水魚介類調査のほか、チョウザメの増養殖技術などの研究を行っています。



県立高等水産研修所



日南市油津にある職場で、高度な技術と知識を備えた漁業者の養成を行っている全国でも数少ない専門機関です。

東臼杵農林振興局

南那珂農林振興局



延岡市と日南市の県の総合庁舎内にある職場で、主に水産業普及指導業務を行っており、漁業者と接する機会が最も多い部署です。

MISSION

2

水産職の業務

ここに掲載しているものは水産職の業務の一部です。詳しくは「宮崎県」や「ひなたMAFIN」のホームページをご覧ください。



を管理し、創造する！

資源管理の推進

マダイやヒラメなどの有用魚種について、毎年、資源状況を分析し、その結果に基づく管理措置を講じ、併せて人工種苗の放流などを実施しています。

また、水産資源の生育環境として重要な藻場・干潟について、漁業者等との協業による保全活動を推進しています。



人工種苗(ヒラメ)の放流

漁業の免許・許可と漁業取締り

海面の総合的な活用を図るため、共同漁業や養殖及び定置漁業を営むための漁業権の設定や管理を行うとともに、持続的な水産資源の利用を図るため、漁業許可制度の運用を行っています。

また、これらの制度を適切に運用するため、密漁などの漁業違反に対する取締りを行っています。

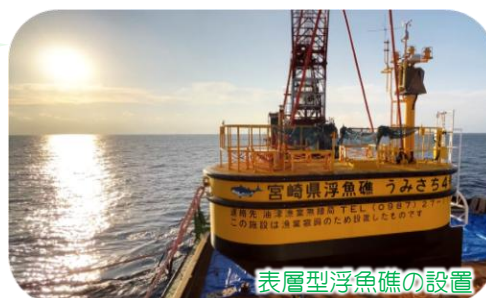


取締船「たかちほ」による漁業取締

漁場の整備

宮崎の沿岸地形は単調で天然礁が少ないため、カツオなどの回遊性魚類の滞留性が欠けるという欠点があります。そこで、沖合域においては、漁獲機会の増大を図るため、浮魚礁などの人口構造物による漁場の整備を行っています。

また、魚類の稚魚の生息場となる沿岸域においては、稚魚を外敵から守るための増殖場の整備を行っています。



表層型浮魚礁の設置

人と語り、人を創る！

担い手の確保

近年の少子高齢化に伴い、どの産業も人材が不足しています。本県の漁業者も、平成以降減少が顕著となっています。

このため、県と水産団体は、担い手の確保対策の中核機関として、平成28年に(公社)宮崎県漁村活性化推進機構を設立し、就業希望者に対する相談窓口の設置や漁業研修等の取組を行っています。



都市部での漁業就業相談会

担い手の育成

本県では、優れた担い手を確保するため、昭和13年に漁村道場宮崎県水産講習所を設置しました。その後、施設の再整備等を行い、現在は県立高等水産研修所と名称を変更しています。

研修所では、中学又は高校卒業生などを対象として、時代の要請に対応できる高度な知識と技術を備えた漁業就業者の育成を行っています。



実習船「わかたけ」による航海実習

技を磨き、未来を切り拓く！

水産試験場での試験研究・技術開発

本県水産業の振興を図るために、技術開発を担う試験研究体制の整備を図りながら、的確に試験研究ニーズを把握し、様々な技術開発、調査及び漁業者に向けた情報提供を行っています。

資源部

日向灘で漁獲されている水産資源の状況を調査し、適正な管理方法を提示するとともに、操業効率化につながる漁海況情報の提供、イワシ・アジ・サバ類の来遊予測の技術開発などを行っています。



調査船「みやざき丸」による環境DNA分析

増養殖部

藻場や漁場環境の維持回復のための技術開発や、放流用・養殖用対象種の種苗生産技術開発、養殖魚の飼育・疾病予防の研究、赤潮や貝毒のモニタリング調査などを行っています。



アカアマダイの親魚養成試験

経営流通部

漁業調査船によるカツオ・マグロ類の調査及び漁場予測の研究や、もうかる水産業の構築のための操業の効率化の研究、漁獲物の付加価値向上の技術開発などを行っています。

内水面支場

アユなどの内水面資源の調査及び科学的な資源評価手法の研究や、増殖・保護手法の技術開発、チョウザメなどの内水面養殖対象種の種苗生産・飼育手法の技術開発などを行っています。



チョウザメの採卵と超雌誕生

3 職員紹介

日向灘の深海魚トレジャーハンター

- 所属 水産試験場
資源部
- 入庁 令和5年度
- これまでの配属先
R5 漁業管理課
R7 水産試験場



水産試験場では、大学で専攻していた魚類生態学の知識を活かしながら、イワシ・アジ・サバの資源調査や来遊予測の研究を担当しています。

また、新たな水産資源の開拓に向け、調査船『みやざき丸』に乗船し、日向灘の深海漁場調査にも取り組んでおり、高精度の海底地形図を作成するとともに、深海の海水中に含まれているDNAを採取して、そこに生息する魚の種類や分布域を調べています。その結果、高級魚であるキンメダイの仲間などが確認され、新たな漁獲対象として期待が高まっており、彼の調査・研究成果から目が離せません。

新たな赤潮監視システムの第一人者

- 所属 水産試験場
増養殖部
- 入庁 令和6年度
- これまでの配属先
R6 水産試験場



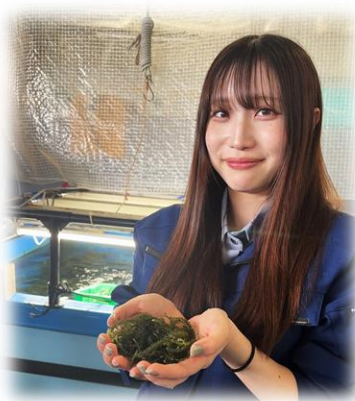
水産試験場では、藻場や養殖漁場環境に関する調査・研究を担当しています。

特に養殖業に甚大な被害をもたらす赤潮の監視業務では、発生直後の初動対応が重要であり、原因プランクトンや発生場所等を的確に捉え、迅速に関係漁業者に注意喚起を行う必要があります。そこで、ドローンを使用した調査とスマートフォンのアプリを組み合わせ、より迅速に情報提供を行う赤潮監視システムの構築を進めています。

まだ入庁3年目ですが、赤潮監視のエキスパートとして、今後の活躍が期待されています。

新たな漁業モデルのナビゲーター

- 所属 水産試験場
経営流通部
- 入庁 令和6年度
- これまでの配属先
R6 水産試験場



水産試験場では、漁業経営分析や収益向上に関する研究を担当するほか、県内漁業の経営状況を把握し、行政施策に役立つ資料の作成といった縁の下の力持ち的な仕事を一手に担っています。

また、県内で養殖の始まったクビレズタ(海ぶどう)の需要調査や、海ぶどう養殖の収支分析を行い「もうかる養殖モデル」を作成するなど、新たな漁業を創る前例のない業務にも積極的に取り組んでおり、その成長と活躍には目を見張るほどです。

生物と歩む 次世代養殖クリエイター

- 所属 水産試験場
内水面支場
- 入庁 平成29年度
- これまでの配属先
H29 水産試験場
R2 水産政策課
R4 南那珂農林
R6 水産試験場



水産試験場では、アユの資源調査やロシアチョウザメとコチョウザメの種苗生産・全メス化技術に関する研究を担当しています。

生き物を扱う業務には繊細さが求められ、知識と感覚的な部分の両立が重要です。彼が手がけた令和7年産のロシアチョウザメは成長がとても良好で、チョウザメ養殖業者からも高い信頼を獲得しました。

本県の内水面養殖業を次世代へと繋ぐキーマンとして、今後も活躍が期待されます。

WORKING CONDITIONS

4

勤務・休暇など

勤務
時間は?

月曜日～金曜日

午前8時30分～午後5時15分

(休憩時間を除く週38時間45分)

休暇は?

年次休暇: 入庁した年 15日/年、
以降 20日/年

特別休暇: 夏季、結婚、出産、
育児、子の看護など

MESSAGE

5

受験を考えている人へ

若手職員 所属：東臼杵農林振興局（令和7年度入庁）



● 仕事のやりがいについて

私はここで、主に水産業普及指導員として、漁業者と共に課題の解決に向けて現場での活動に取り組んでいます。漁師さんとの会話を大事にしながら、日々勉強し、漁業者の所得向上につながるようサポートしていきたいと思っています。

● 宮崎県水産職の受験を考えている人へ

私たちのサポートが、漁業者のためになり、宮崎県の水産業の支えとなります。また、県庁内の異動を繰り返すことで、人とのつながりや知識が膨らみます。水産が好きな人にとっては、県庁水産職はとても良い職業だと思います。皆さんと働けるのを楽しみにしています。

あと、宮崎はコストコ無いけど、おいしいご飯いっぱい！ 新幹線無いけど、暖かくて住みやすい！

中堅職員 所属：水産局 漁業管理課（平成24年度 入庁）



● 仕事のやりがいについて

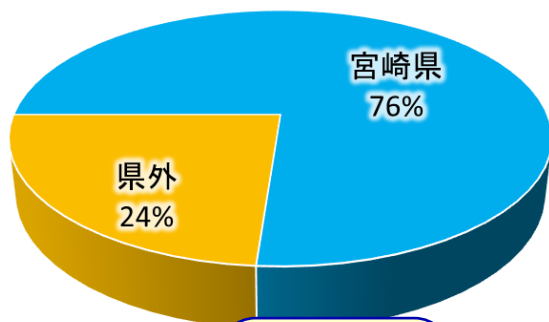
漁業者等と接する機会が多く、自らの仕事が現場でどのように役立ったかを実感できることが、県庁水産職の大きな魅力だと思います。前向きな県職員や、生産者等と共に刺激を受けながら仕事ができ、モチベーションにも繋がっています。

● 宮崎県水産職の受験を考えている人へ

本県は多様な漁業種類、海面や内水面における養殖業や水産加工業などがあり、一言に水産業といっても幅広い分野に携わることができます。また、希望が通れば商工等の部署や水産庁などへの出向も可能なので、幅広く業務経験を積むことができます。

暮らす上でも、食やレジャーなど魅力ある地域だと思います。

水産職員の出身地

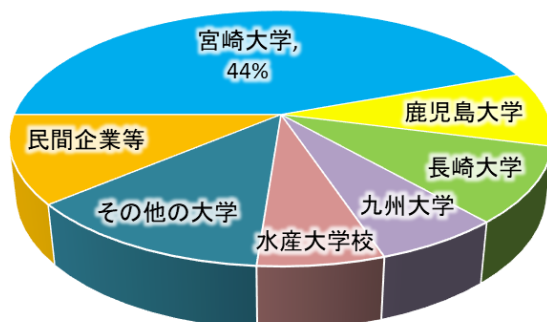


令和8年度
水産職員 計63人

4人に1人が県外
出身者！
宮崎が好きで、
一緒に水産業を
盛り上げようと
頑張っているよ



水産職員の入庁前履歴



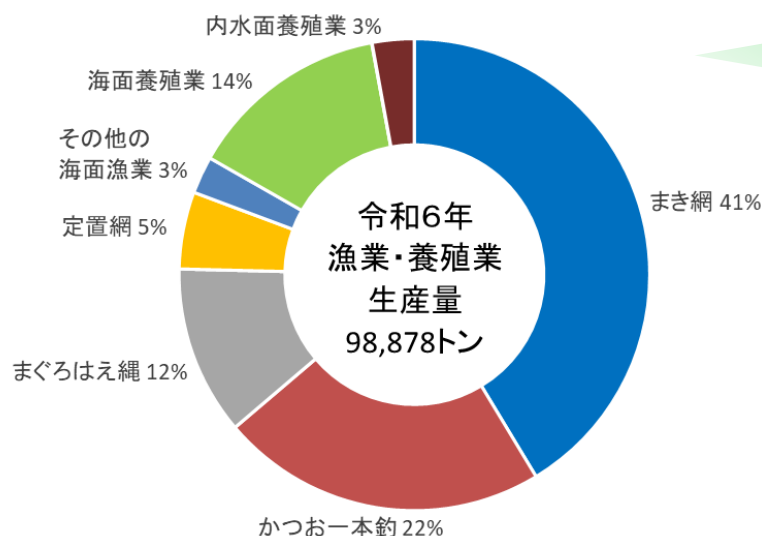
あなたの先輩が
いるかも！
あなたの知識や
経験を聞かせて
ほしいな



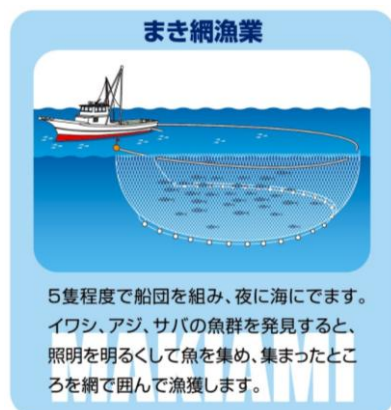
REFERENCE

6

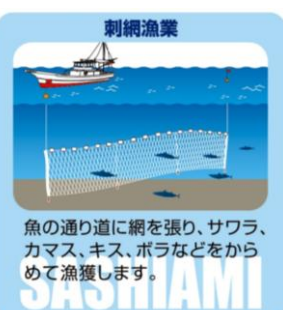
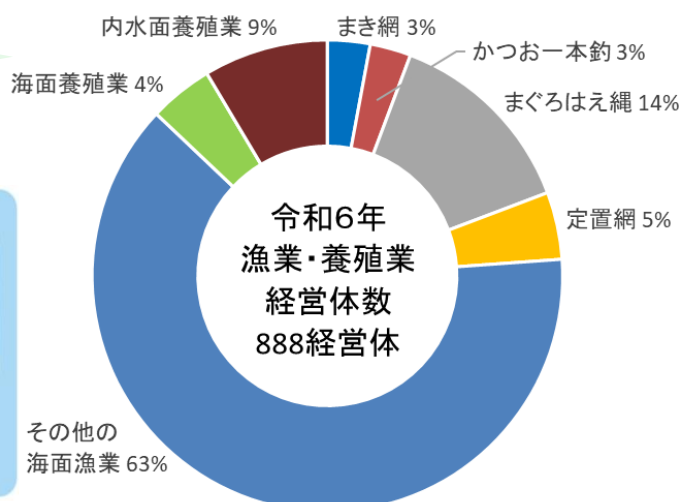
宮崎の漁業の概要



漁業種類別生産量



漁業種類別経営体数





宮崎県 農林水産業ナビ

ひなたMAFiN

Miyazaki Agriculture Forestry Fisheries Navigation

マフィン



「ひなたMAFiN」は、農林水産業に関する情報を集約したホームページ
「宮崎県農林水産業ナビ」の愛称です。
「MAFiN」は、Miyazaki Agriculture Forestry Fisheries Navigation
の頭文字を組み合わせたものです。

農林水産業に関する多様でタイムリーな情報を発信しています。

問合せ先： **宮崎県 農政水産部 水産局 水産政策課**

〒880-8501

☎ 0985-26-7685

宮崎市橘通東2丁目10番1号

✉ suisanseisaku@pref.miyazaki.lg.jp